



4月から資源物J“プラスチック類”に新たな物が加わります

ごみの減量化と資源のリサイクルを進め、循環型社会に貢献するため、これまで「燃やすごみ」に分類していた「プラスチック類」を平成17年4月から「資源物J」として分別収集を行っています。

本年4月から対象品目“プラスチック類”に新たに下記のもの加わります。なお収集した「資源物J」はボイラーの燃料としてリサイクルされています。ごみの分別にご協力をお願いします。

○新たな対象品目 ※ マークがついていない品目もあります。



家庭での菜園・苗木入れ容器
注意 土などの付着物がないもの



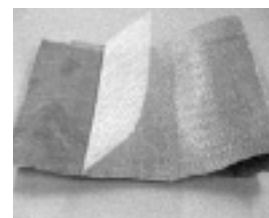
包紙の内側がコーティングしてある包装紙



風呂場を使用されるポリ容器や石鹸入れ等水洗いして出して下さい



PE素材に空気が注入され衝撃緩和用として使用される物(エアークラップ)



PE素材に空気が注入されボール紙と圧着される物(緩衝材)



水が浸透しないように容器の内側にコーティングされた紙製容器



卵が入っていた灰色の紙器(モールド紙)



フィルムと紙を熱によって圧着したもの



表や裏が金・銀貼りの酒パック等



買い物時等の料金明細書紙やノンカーボン紙



ポリプロピレン・ポリエチレン素材等のポリ容器(ポリバケツ) 付着物がないもの

※「資源物J」は汚れを落とし、指定袋に名前を書いて出しましょう!

出し方のルール ご協力をお願いします!!



資源物Jに関するお問い合わせは

環境衛生課(合志庁舎) ☎248-1202
菊池環境保全組合 ☎293-2555

ペットを飼っている皆さんへ vol.4



問題の解決に向けてみんなで考えましょう

これまで紹介してきたように、ペットに関する問題も被害者もさまざまです。

例えば、ふん尿の放置や鳴き声、野犬問題などの被害者は地域住民ですが、不衛生な環境での飼養や動物虐待などの被害者は動物たちです。

いずれにしても、ペットたちは被害者であり、原因は一部の心無い飼い主などにあることは間違いないでしょう。

では、どうしたらこの問題を解決できるのでしょうか。

この地球上では、人間も動物です。同じ命あるものとして、人間以外の動物の命を粗末に扱う行為は決して許されるものではありません。自然界でも捕食以上に殺す動物はいません。

人間と動物は古来より深くかかわってきました。今やペットのいない社会はありえません。確かに、

動物をきれいな人もいますが、盲導犬や聴導犬、介助犬など身体の一部として必要とする人も大勢いるということも認識する必要があります。

今ペットを飼っている人、いない人に関わらず、ペットを飼うということの責任を認識し、ペットの習性や飼い方、去勢・避妊といった知識を身につけ、ペットに対する正しい理解を深め、実行することがペットを取り巻く環境の向上につながるのではないのでしょうか。

皆さんのご協力をお願いします。



資源物分別のコーナー

今月は廃蛍光管についてです。蛍光管には有害物質の水銀が含まれており通常の処理方法では環境に悪影響を与えるため、通常のごみとは別に回収し、ガラス、アルミ、水銀に分けてリサイクルしています。

【分別の注意点】

- 市の指定袋に入れる必要はありません。新聞紙などで包んで割れないよう工夫して出してください。
- 拠点回収となっていますので、指定の場所に出してください。
- もし、誤って割ってしまった場合は水銀除去の処理ができないため、埋め立てごみに出してください。(黄色の指定袋)

- 電球は埋め立てごみです。電球型の蛍光管もありますので購入の際にパッケージなどでご確認ください。
- 回収日は基本的に5、8、11、2月の第4火曜日です。
- 回収ボックスを設置している電気店などもありますので、買い替えの際にご利用ください。

【廃蛍光管拠点回収場所】

合志庁舎西側入り口・栄体育館駐車場・合志市福祉センター「みどり館」西側駐車場・合志小学校西側・日向集会所・合志町商工会館駐車場・農村広場駐車場・泉ヶ丘市民センター入り口・三つの木の家北側駐車場・杉並台中央公園東側・永江ふれあいセンター駐車場・西合志庁舎・野々島公民館・合生文化会館・黒石市民センター・妙泉寺体育館・須屋支所